

伝統の美を求めて「鎌倉彫り教室」

都留市に在住して十三年目を迎えました。移住してすぐ文化協会があり、多くの部門があることを知りました。そして、私は今まで手掛けてきた鎌倉彫を展示して市民の方々に日本の伝統文化の鎌倉彫を知ってもらいたいと思い、文化祭に展示させていただきました。

しかし、会場ではとても寂しい思いをしました。ほとんどの方に見向きもしてもらえない有様でした。辛抱強く毎年展示を続けると同時に、私自身が多くの市民の方々と知り合いになれるように市の広報を見ては、植物観察会、山登り、古文書、詩吟の会などに参加し多くの良き友を得ました。

四年目ごろより、市長さんをはじめ教育長さん、文化協会の理事の方々などから励ましの言葉をいただいたり、彫りについての質問なども出していただけるようになりました。そんな状況の中で、公民館の方から、鎌倉彫りの講師の話があり、第一回が開催されることになり、鎌倉彫一陽会の許可も得まして、実施したのが始まりでした。第一回の終了者は六名でした。第二回は、応募者が三名でした。第一回の終了者の方々より、是非とも続けたいとの強い要望があり、私も修行中の身でもあり、一旦はお断りしたのですが、重ねてのご要望に続けることになり、現在に至っております。

都留市の方々に少数ではありますが、鎌倉彫の伝統の美を理解され進んで勉強される方がいらつしやることは、私にとって望外の喜びであります。

いつまで続けられるかわかりませんが、健康であるかぎり頑張っていくつもりです。多数の皆さんのご参加をお待ち申し上げます。

開催日時

毎月一回 第二水曜日

午後一時～四時

開催場所

禾生コミュニケーションセンター

入会随時

会員数 九名

問合せ

学級長 渡辺敏江 ☎(43) 23665

高橋 寛 ☎(43) 16556



鎌倉彫り教室の様子

生涯学習通信 生涯学習推進会議調査・啓発部会

のびのび いきいき 生涯学習

生涯学習グループの紹介

現在、都留市内において各種団体に所属し、活動している学習グループや自主的に学習しているグループを紹介します。

地域の教育力とは「生涯学習」ロメロ

地域の教育力とは何でしょうか。まず思い浮かべるのは、地域の住民が子どもの問題行為に対して注意や叱責をしなくなったという指摘です。しかし、こうした側面は地域の教育力の一部でしかなく、地域は他にも多くの教育力を備えているのです。

子どもにとっての地域は、いわば自分の庭なのです。かつての地域は、子どもが自由に遊び、活動ができる安全性の高い環境であり、加えて家族同様の「親しい他人」を含む環境でした。地域には、温かく親密な人間環境があり、その中で子どもは多様な人間関係を体験することができました。

地域の人々は、いわば親に代わる「第二の親」として地域の子どもの慈しみ、育てる役割を担っていました。そして、友人関係についても、学校での同年齢の仲間とのヨコの関係と違う、タテの関係を体験することができました。

しかし、最近の地域は子どもにとっての生活圏というよりも、学校と塾と家庭を結ぶ通路の役割しか果たさなくなってきたようです。このことにより、子どもは親に代わる「第二の親」きょうだいに代わる「第二のきょうだい」を失った状態にあります。

また、地域は子どもの遊び場なのです。遊びには、場所と時間と仲間が欠くことのできない要件ですが、最近の子どもはそのための場所も時間も仲間も得られない条件の中で生活をしています。

遊びが子どもの成長に果たす役割は、計り知れないものがあり、その意義はよく認識されているところです。遊びの意義は、何よりもその活動の中心に位置する自主性・自発性にあります。遊びは課題ではなく、子どもの自発的な活動である点に特色をもっています。

このように、地域の教育力は子どもの健全育成に果たす役割は大きいものがあります。少子化と合わせて通塾率の高まりやママメディアの普及によって、地域から子どもの姿が消えてしまった状況や大人にしても、私生活への他人の介入を避けようとすることから人間的な交流のある温かい場であることをやめてしまっている状況があります。

今、子どもを健全に育成するために考えなくてはならないこと、それは、それぞれの地域に存在した、かつての地域の教育力をできることから、少しずつでも回復させることが、親世代にとって必要なことではないでしょうか。